

# 林業ミニ情報 No.177

令和7年9月

- 1 学童保育において森林・林業体験学習（どんぐり・松ぼっくり工作）を  
実施  
・・・・・・・・・・ 1  
(水戸林業指導所 水庭)
- 2 木育イベント「すくすく子育てフェスタ」が開催される  
・・・・・・・・・・ 3  
(土浦林業指導所 秀島)
- 3 森林ボランティア団体におけるニオウシメジ栽培に関する相談及び栽培  
状況の見学について  
・・・・・・・・・・ 5  
(筑西林業指導所 半田)

タイトル	学童保育において森林・林業体験学習（どんぐり・松ぼっくり工作）を実施
年月日	令和7年7月31日（木）
場所	那珂市 ゆたか学童クラブ
内容	<p>去る7月31日、那珂市のゆたか学童クラブにおいて、森林・林業体験学習を開催し、森林の働きについての講義とどんぐり・松ぼっくり工作を行いました。当日は、夏休み期間中で通常より利用者が多く、計63名の児童が参加したため、1、2年生と3～6年生の2回に分け実施しました。</p> <p>森林の働きについての講義では、対象の学年に合わせて内容を変えるなどし、「もしも森がなかったらどうなる？」と児童に問いかけると、「森にすんでいる動物が困る？」「考えたことなかった、どうなっちゃうんだろう」など、様々な反応があり、森林について考えるきっかけとすることができました。</p> <p>その後、どんぐり（コナラ、クヌギ）、球果（クロマツ、スギ、ヒノキ）、木材（ヒノキ、コナラ）等を使った工作を行いました。材料の木材は、当指導所管内の製材所が出た端材や、地元森林組合で間伐した現場の梢端部、しいたけ原木として使われなかった枝など、本来であれば活用されないはずであったものを集め、当指導所で加工したものを使用しました。</p> <p>工作中も、使っている材料が何なのか、木の種類によってどんぐりや球果の形にどのようなちがいがいるのかななどを説明し、より深く学ぶ機会になるように努めました。子供たちは思い思いに材料を手にとって、真剣な表情で工作を行っており、木の良さを知るとともに、森林にあるものを身近に感じることでできる良い機会となりました。</p> <p>当指導所では、引き続き、森林や林業について理解を深めていただけるよう、参加者や地域の実情に合わせた工夫を凝らした体験学習を実施してまいります。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>森林の働きの講義の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工作で使う材料を選んでいる様子</p> </div> </div>

<b>普及成果</b>	多様な学年に合わせた体験学習内容を検討し実施したことにより、森林・林業についての理解をより深める機会を創出することができました。また、地域の様々な端材の有効活用にもつなげることができました。
-------------	---

タイトル	木育イベント「すくすく子育てフェスタ」が開催される
年月日	令和7年6月7日（土）
場所	つくば市内（イーアスつくば）
内容	<p>去る6月7・8日（土・日）の2日間にわたり、つくば市内のショッピングセンター「イーアスつくば」内にて、（一社）子育てネットワークままもり主催により木育イベント「すくすく子育てフェスタ」が開催されました。</p> <p>この木育イベントは、木のおもちゃなど木と触れ合う体験を通じて、感性豊かな心を育もうというもので、今回は両日で約6,200名が来場しました。</p> <p>当林業指導所では1日目の7日（土）に、ヒノキの間伐材を使ったお箸づくりを親子合わせて約100名の方に体験していただきました。</p> <p>来場者からは「お箸を自分で作れてうれしい。木製品の良さを改めて実感した。」、「鉋で削った屑もにおいが良くて癒された。」などさまざまな感想をいただきました。</p> <p>間伐材を鉋で削ってお箸を作るという体験を通して、木の香りや手触りを楽しんでもらうとともに、あわせて、冊子等を活用して森林の働きや林業の役割について説明を行ったことで、森林を守り育て活用していくことの大切さについて考えるきっかけをつくることができました。</p> <p>当指導所では、引き続き体験学習を通して、森林や林業について理解を深めていただけるよう支援してまいります。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>イベント会場の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お箸づくり体験の様子</p> </div> </div>

<b>普及成果</b>	<p>会場がショッピングモール内であったことから、本イベントのメインターゲットである子育て世代を中心に、広く県民に木の魅力を体験してもらう機会を創出することができました。</p> <p>また、管内で木育活動を行う団体と連携することで、効果的な体験学習を実施することができました。</p>
-------------	---

## R7. 林業ミニ情報（令和7年9月）

（筑西林業指導所 半田）

タイトル	森林ボランティア団体におけるニオウシメジ栽培に関する相談及び栽培状況の見学について
年月日	令和7年8月8日（金）
場所	那珂市 林業技術センター構内
内容	<p>筑西市にある「五郎助山」を活動フィールドとして里山林整備等の活動をしている森林ボランティア団体「NPO 法人里山を守る会」（以下、里山を守る会）から、活動の一環としてニオウシメジの栽培を検討したいとの相談が当指導所にあつたため、8月8日に林業技術センターにおいてニオウシメジの栽培施設の見学と栽培方法についての指導を行いました。</p> <p>ニオウシメジは、熱帯性のきのこで、日本では沖縄や奄美諸島などで発生しており、群馬県が発生の北限とされています。きのこの発生が少ない夏季～初秋に発生し、1株が10kg以上になることもあり、見た目のインパクトだけでなく、食用としても人気のきのこです。一方、日持ちしないこと、1～2週間のうちに一度に発生してしまうことなどから、生産・販売が難しく、市場にあまり出回っていません。そこで、県では林業技術センターにおいてニオウシメジの栽培技術の研究を行うとともに、その成果をまとめた栽培マニュアルを作成するなど普及に向けた取組を行っています。</p> <p>今回は、まず、この研究成果や栽培マニュアルをもとに、県から一般的な栽培方法であるプランター栽培や露地栽培についての説明を行いました。里山を守る会では、ヒラタケをはじめとしたきのこ栽培の実績があることから、どのような栽培場所が良いのか、伏せ込み時期や収穫時期はいつ頃なのかなど、具体的な栽培方法について多くの質問がありました。また、同会は、活動フィールド内の広葉樹からおが粉を製造して利用することも検討しているとのことでした。これが実現すれば、地域資源の循環利用につながることを期待できるものと考えております。</p> <p>今後は、現地において、栽培場所の選定や栽培方法の検討について助言・指導するとともに、発生したきのこの活用など今後の同会の活動についても支援してまいります。</p>



栽培施設にて見学



研究室にて栽培方法を説明

<b>普及成果</b>	管内におけるニオウシメジ栽培の更なる普及に資することができました。また、活動フィールド内の広葉樹から製造したおが粉を活用した栽培が実現すれば、きのこ栽培による地域資源の循環利用の事例として普及効果が期待されます。
-------------	--